氏名	廣渡祐史	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生化学、分析化学、臨床化学、動脈硬化				
学位	工学博士				
学歴	1986年早稲田大学理工学部応用化学科卒業、1996年早稲田大学工学博士取得				
経歴	1986年東ソー株式会社入社、1992年株式会社創薬技術研究所出向（国立がんセンター研究所研究員）、1994年東ソー株式会社復帰、2015年埼玉県立大学准教授、2020年埼玉県立大学教授　検査技術科学専攻長、現在に至る。 2012～2015年順天堂大学医学部非常勤講師、2012～2014年名古屋市立大学薬学部非常勤講師、2014年早稲田大学理工学術院招聘講師、2012年～北里大学大学院医療系研究科非常勤講師、2012年～女子栄養大学栄養科学研究所客員教授、2016～2020年東京工科大学演習講師				
所属学会（役職）	日本動脈硬化学会（評議員）、日本臨床化学会（評議員、リポ蛋白専門部会、編集委員会副編集長）、日本血栓止血学会、日本化学会、日本栄養食糧学会				

【2022年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶ―利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携―．埼玉県立大学編集.	共著	あり	中央法規出版　第4章IPWを実践できる人材を育てる―IPEとその展開 第6節諸分野における教育課程とIPE（7）検査技術科学分野を担当執筆	廣渡祐史	2022/4/20

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	糖尿病患者の脂質代謝異常の特徴	共著	あり		糖尿病　65:562-565,2022	柳内秀勝、廣渡祐史、吉田博	2022/11/30
2	Postprandial Fatty Acid Metabolism with Coconut Oil in Young Females: A Randomized, Single-blind, Cross-over Trial.	共著	あり	○	Am J Clin Nutr. 2023 Mar 20:S0002-9165(23)46271-5.	Furuta Y*, Manita D, Hirowatari Y, Shoji K, Ogata H, Tanaka A, Kawabata T.	2023 Mar 20

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋白亜分画分析法.	単独	第7回神奈川脂質・動脈硬化研究会学術集会（第39回かながわ脂質研究会学術集会）（横浜）	○廣渡祐史	2022/11/5
2	新規糖尿病関連採血管の開発	共同	第62回日本臨床化学会年次学術集会.　（富山）	○久米幸夫、廣渡祐史、蔵野信、矢冨裕、松下誠	2022/10/1

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

２．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	東ソー株式会社との共同研究	液体クロマトグラフィーを用いたリポ蛋白分析に関する共同研究	研究代表者	2022/4/1～2024/3/31

３．教育業績

（１）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	検査機器総論（学部1年）	○	11	臨床検査で用いられる多種多様の機器の原理を理解することを目的とした。また、顕微鏡の基礎的な知識・操作を身に着けるための実習も組み入れている。
2	医科学研究法（学部2年）	○	2	医学研究・倫理について学ぶ新規科目である。いろいろな分野の研究者に講義をお願いし、学生の興味を高めるようにした。
3	病態生化学（学部3年）	○	15	ホルモンなどによる生体内の制御に関する授業である。血液検査データだけでなく生体検査データも含めた症例説明の内容を取り入れ、より深く生体制御を理解するように工夫している。最新の医学情報とわかりやすい症例報告を加えることに授業に改良を加えた。
4	病態生化学特論（学部4年）	○	8	選択科目である。医学領域の最新の話題を学生に教授しお互いに議論し、好奇心を駆り立て自ら知識を深める力を高める。
5	生体情報評価学（修士1年）		3	興味を引き起こすことを目的とし、動脈硬化・メタボリックシンドロームを中心に世の中の状況・問題点についての議論の時間を中心とした講義を展開した。
6	医療科学研究論（博士1年）		3	自分の専門分野であるリポ蛋白、動脈硬化、血小板に関する内容を提供し、今後研究すべき課題について議論した。

（２）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床検査基礎演習（学部1年）		1	臨床検査の概要を知るための講義・実習・演習である。生化学系の実習を受け持った。

（３）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生物化学分析学実習（学部1年）	○	22	実習の中で観察力・洞察力を養うことを目的とした。新カリキュラムとなり、関連する生物化学分析学（講義）が無くなったことから、講義も一部含む実習科目として全面的に変更した。
2	臨地実習（学部3年）	○	10	科目責任者として実習全体をサポートした。

（４）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022/4-2023/3	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2022/4-2024/3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文	2022/4-2024/3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 3名

（５）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	科学技術者フォーラム	STF	動脈硬化と血管の大切さ	2023/3

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	検査技術科学専攻長	2020/4-2023/3
2	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会副部門長	2019/4-2023/3

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項

1	該当なし